



# 第 1 章

## 人をはぐくむまちづくり (教育・人づくり)

### 10年後に 目指す姿

ふるさとを愛し、  
多様性を尊重する心豊かな人間性を育むとともに、  
あらゆる世代が共に学び、  
支え合えるまちを目指します。

### 重点テーマ

主体性・社会性の育成

### 重点施策

- 1 個性を伸ばし、主体性を育む人づくり
- 2 学び合い、高め合う人づくり
- 3 ふるさとを愛し、未来へ繋げる人づくり

## 個性を伸ばし、主体性を育む人づくり



## 目標

一人ひとりの個性や感性を伸ばし、主体性を育みます

## 現状と課題

環境の多様な変化に柔軟に対応するための主体的に学ぶ力を身に付けた、次世代を担う人材育成が求められています



## 市民に期待する役割

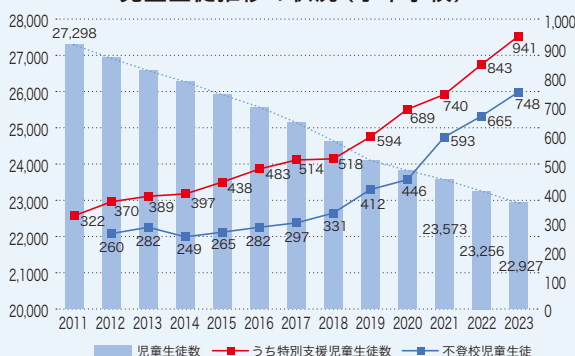
- 学校公開日等への積極的な参加
- 特別支援教育への理解
- 図書館における読書活動への参加
- 教育ICTへの理解



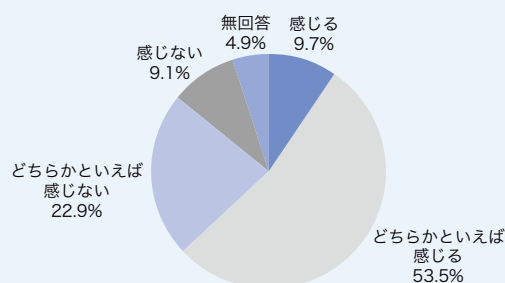
## 企業・団体に期待する役割

- キャリア教育への協力
- 読書活動充実のための人材提供
- 特別支援教育及び外国人児童生徒への理解

## 児童生徒推移の状況（小中学校）



【市民アンケート「子どもたちが確かな学力を身に付け、心身ともに成長できる学校教育が行われていると感じますか」】



出典：2023年度市民アンケート

## (1) 主体的な学びの推進

## 成果指標

学校評価アンケートで「学習のめあてをもち、進んで取り組み、考えを伝え合いながら、学びを深めることができているか」という質問に「よくできている」「大体できている」と回答した人の割合

実績（2017）

79%

現状（2023）

82.2%

目標（2027）

85%

## 成果指標

学校評価アンケートで「学びの質を高めるICT活用の推進」について、「よくできている」「大体できている」と回答した人の割合

実績（2017）

—%

現状（2023）

83.4%

目標（2027）

87%

## 1 | 授業充実支援事業

- ・授業内容の充実、関係機関との連携した研修実施
- ・基礎学力検査や英語能力判定の実施、実態把握
- ・授業改善支援

## 直接成果

子ども一人ひとりの個性や特性、多様な学び方が大切にされ、自分にあった方法で安心して学んでいる状態

## 中間成果

子どもたちが主体性を持って学びたいことに向かっている状態

## 2 | 多様な学び推進事業

- ・外国語教育の充実
- ・給食食材の地産地消や食に関する指導の充実
- ・多様な学び、国際理解教育の推進

## 直接成果

子どもたちへの多種多様な学びの選択肢と機会の提供

## 中間成果

多様な子どもたちに対して、各々に合った方法で学べる環境が整った状態

## 3 | デジタル教育推進事業

- ・GIGAスクールの運営
- ・デジタル教育活動支援の充実

## 直接成果

一人一台タブレットを主体的に活用し、個別最適な学びや協働的な学びが充実している状態

## 中間成果

学校や保護者のみならず地域も学びに関わり、ともに育むことに理解している状態

## 最終成果（施策の方向性）

子どもたちが学びたいと思え、それに応えられる環境が整っている状態を目指します



## (2) 個の特性に配慮した教育の推進

**成果指標** 学校評価アンケートで「特別支援教育が充実している。」という質問に「よくできている」「大体できている」と回答した人の割合

実績(2017)

92%

現状(2023)

83.8%

目標(2027)

87.8%

**成果指標** 不登校児童生徒のうち、欠席が90日以上の子どもの割合

実績(2017)

65.8%

現状(2023)

65.4%

目標(2027)

61%

**成果指標** 学校評価アンケートで「授業で学習したことがよくわかっている。」という質問に「よくわかっている」「大体わかっている」と回答した人の割合

実績(2017)

92%

現状(2023)

88%

目標(2027)

93%

### 1 | 特別支援教育推進事業

- ・特別支援教育巡回相談の実施
- ・特別支援学級助員・学習サポーター等の支援スタッフの配置

#### 直接成果

こどもが困ったときに相談でき必要なときに支援を受けられる状態

#### 中間成果

こどもが安心して学校に通える状態

### 2 | 青少年支援事業

- ・青少年の相談対応や支援実施
- ・教育支援教室の運営
- ・スクールアシスタント等の支援スタッフの配置

#### 直接成果

こどもの個性や特性、家庭環境を理解している大人が近くにいる状態

#### 中間成果

こどもたちが安心して自己表現できる状態

### 3 | 外国人児童生徒支援事業

- ・巡回型日本語指導員を配置
- ・保護者支援員(通訳・翻訳)
- ・日本語スタートアッププログラム等の実施

#### 直接成果

安心して友達と一緒に過ごせる環境が整っている状態

#### 中間成果

こどもが自分と友達の違いを知っている状態

#### 最終成果(施策の方向性)

こどもたちが自分の良さを発揮している状態を目指します

## (3) 図書館の機能充実

**成果指標** 図書館本館・前橋こども図書館の来館者数(年間)

実績(2017)

一人

現状(2023)

192,171人

目標(2027)

192,800人

**成果指標** 図書館の主催事業の参加人数(年間)

実績(2017)

10,627人

現状(2023)

9,732人

目標(2027)

10,200人

**成果指標** 資料貸出冊数・点数(年間)  
※電子書籍含む

実績(2017)

2,116,205冊

現状(2023)

1,784,435冊

目標(2027)

1,852,200冊

### 1 | 図書館のあり方検討事業

- ・新本館整備方針、分館を含めた本館の在り方検討・こども図書館や県立図書館との役割分担等

#### 直接成果

図書館運営の充実が期待できる施策が増える状態

#### 中間成果

図書館が市民にとって身近に(物理的に、気持ち的に)ある状態

### 2 | 読書活動推進事業

- ・図書館本館、こども図書館、分館資料の一括管理や貸出
- ・企画展や講座等の自主事業開催
- ・読み聞かせ活動の実施

#### 直接成果

本に興味を持つ子どもが増えている状態  
市民が本と出会うきっかけが提供できている状態

#### 中間成果

読書習慣が身につく人が増えている状態

### 3 | 図書館ICT活用事業

- ・電子図書館事業の実施
- ・セルフ貸出機の啓発等ICTの有効活用

#### 直接成果

ICTの機器やサービスが活用されている状態

#### 中間成果

図書館の利便性が向上したと感ずる人が増えている状態

#### 最終成果(施策の方向性)

図書館が知的活動の場として様々な立場の市民に利用されている状態を目指します

#### 関連する個別計画

県都まえばし創生プラン、前橋市教育振興基本計画、教育行政方針、まえばし学校教育充実指針、まえばし幼児教育充実指針、前橋市学校教育情報化推進計画、前橋市子ども読書活動推進計画

# 学び合い、高め合う人づくり



## 目標

多様な集団の中で社会性や、認め合い支え合う心を育み、地域と協働してよりよい社会を創造する力を育みます

## 現状と課題

家庭、地域、学校の連携による様々な地域活動の中で、こどもたちの居場所づくりや人間関係の形成が求められています



### 市民に期待する役割

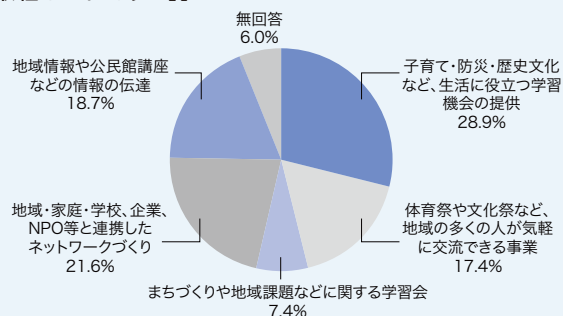
- 地域活動への参加・協力
- 学びの地域還元
- 地域と家庭、学校との連携強化



### 企業・団体に期待する役割

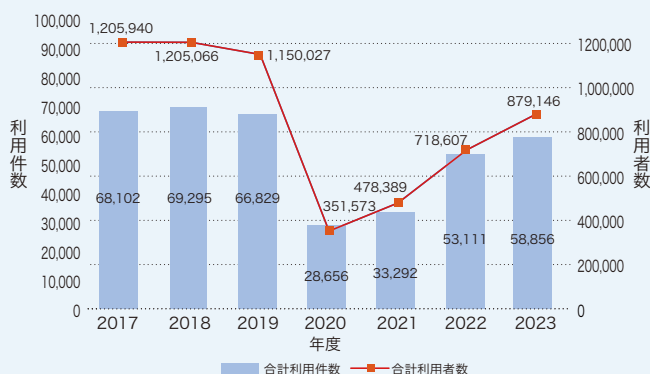
- 社会的なスキルやコミュニケーション能力を育むための体験活動への協力
- こどもたちが主体となる行事・活動の創出
- 社会教育活動のための場や機会の提供

【市民アンケート「公民館やコミュニティセンターに期待する取組はどれですか」】



出典：2023年度市民アンケート

【公民館及びコミュニティセンター利用件数・利用者数】



## （４）人間性を高める学校づくりの推進

### 成果指標

学校評価アンケートで「充実指針を生かした学校課題の解決に向けた取組」という質問に「よくできている」「大体できている」と回答した人の割合

実績（2017）

92%

現状（2023）

93.4%

目標（2027）

95%

### 成果指標

学校評価アンケートで「あなたは進んで地域の行事などに参加し、地域のために活動したり、地域の人と交流したりしていますか。」という質問に「よくできている」「大体できている」と回答した人の割合

実績（2017）

—%

現状（2023）

65.1%

目標（2027）

70%

### 1 | 教職員多忙化解消事業

- ・前橋校務補助員や小学校教科指導講師等の教員を支援、補助できるスタッフ配置
- ・校務支援システムの整備

#### 直接成果

教職員が本来の業務に専念できる時間が十分に確保されている状態

#### 中間成果

教職員がやりがいを持ち、こどもたちと向き合える時間を確保できる状態

### 2 | 部活動地域移行推進事業

- ・部活動地域移行に向けた体制整備
- ・地域と連携した部活動推進

#### 直接成果

こどもたちが多様な人と関わりながら学習・活動する機会がある状態

#### 中間成果

こどもたちが地域の方々との関わりの中で、自らの学びや、自分のよさを自覚できる状態

### 3 | 地域と連携した教育推進

- ・学校運営協議会制度の推進（コミュニティ・スクール）
- ・学校と地域が連携協働
- ・地域人材を活用した授業実施
- ・中学生職場体験事業実施

#### 直接成果

学校教育の様々な場面（授業や課外活動）で地域人材を活用できる状態

### 最終成果（施策の方向性）

こどもたちが、多様な人々と関わり、地域や社会の一員としての自覚を持ち、主体的に学習・活動している状態を目指します



## (5) 地域で活躍する人材の育成と社会教育の充実

成果  
指標

地域の青少年健全育成団体が関わった行事の参加者数（年間）

実績（2017）

40,921人

現状（2023）

24,806人

目標（2027）

48,000人

成果  
指標

民間講師の講座開催件数（年間）

実績（2017）

96件

現状（2023）

150件

目標（2027）

170件

成果  
指標

公民館・コミュニティセンターの講座学習参加者数（年間）

実績（2017）

36,736人

現状（2023）

58,354人

目標（2027）

60,000人

### 1 | 地域人材育成事業

- ・生涯学習フェスティバル
- ・出前講座実施（民間講師、市民講師含む）
- ・明寿大学による学びの提供、人材育成

#### 直接成果

市民がやってみたいことを通じて地域の中で仲間を見つけることができる状態

#### 中間成果

地域での様々な交流を通じて、つながるよさや大切さを感じている状態

### 2 | 社会教育推進事業

- ・各種公民館事業（子育て・親子支援、学び合い・人権・地域ふれあい、文化祭等）実施
- ・市民の学びの発表機会創出

#### 直接成果

地域住民が参加できる講座開催など市民の学びの場が提供されている状態

#### 中間成果

学びの循環が実現できている状態

### 3 | 青少年健全育成事業

- ・のびゆくこどものつどい開催
- ・青少年育成推進
- ・中学生の放課後の自主学習支援（寺子屋）

#### 直接成果

地域で様々な世代が関わる場が提供できている状態

#### 中間成果

市民が主体的に地域に参加して、活躍（活動）できている状態

### 最終成果（施策の方向性）

様々な世代の住民が交流し、地域と繋がって生き活きている状態を目指します

関連する個別計画

県都まえばし創生プラン、前橋市教育振興基本計画、教育行政方針、まえばし学校教育充実指針、前橋市学校教育情報化推進計画、いきいき前橋っ子はぐくみプラン

## ふるさとを愛し、未来へ繋げる人づくり



## 目標

前橋の自然や文化への理解を深め、愛情や誇りを育むとともに、前橋の歴史・文化を次世代に継承します

## 現状と課題

地域の文化財を積極的に活用し、郷土への関心や親しみを高めるとともに、ふるさとの豊かな自然に触れる機会の充実が求められています



## 市民に期待する役割

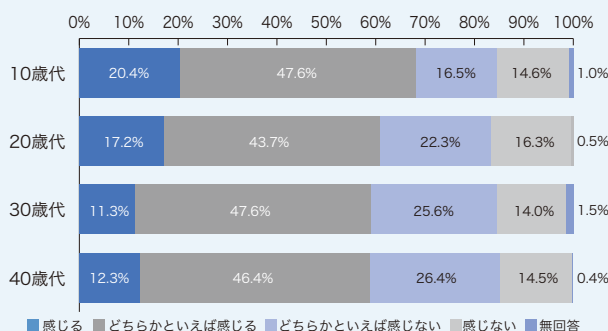
- 講座やイベントへの参加
- 魅力ある地域資源の発掘、発信
- 郷土への誇りや愛着を持つ
- 歴史・文化財の継承



## 企業・団体に期待する役割

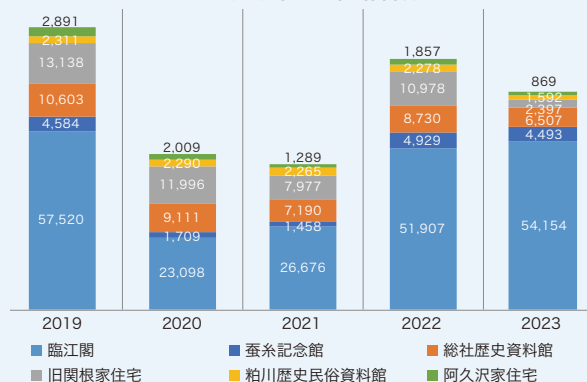
- こどもたちを対象としたイベント企画
- 異業種間の連携
- 地域振興、文化財施設への貢献活動
- 地域の伝統行事、祭りへの協力支援

【市民アンケート「あなたは前橋の自然・歴史文化・食・風土などに誇りを感じますか」】



出典：2023年度市民アンケート

文化財施設の来館者数



## (6) 地域の文化や自然を活かした体験活動の推進

## 成果指標

里山学校事業の参加者アンケートで「体験を通して地域の良さを感じた。」と回答した人の割合

実績(2017)

93%

現状(2023)

95.8%

目標(2027)

96.6%

## 成果指標

自然体験活動参加人数(年間)

実績(2017)

—%

現状(2023)

6,321人

目標(2027)

6,300人

## 1 | 地域資源・文化体験事業

- ・里山学校事業の実施
- ・文化財を活用した体験教室
- ・伝統作物等の収穫体験支援

## 直接成果

こどもたちに赤城山をはじめとした自然・文化に触れる機会が提供されている状態

## 中間成果

共通の体験を通して親子や地区を越えたこどもたちの交流機会がある状態

## 2 | 自然体験活動事業

- ・小中学生を対象とした林間学校等の自然体験活動
- ・児童文化センターにおける自然体験活動・講座

## 直接成果

こどもたちが地域の自然・文化に触れる機会がある状態

## 中間成果

市民が身近なところにいいなもの（心が動かされるもの）が増えている状態

## 3 | 青少年自然体験教育施設管理事業

- ・赤城少年自然の家
- ・おおさる山乃家

## 直接成果

自然体験できる環境（施設や人材）が整っている状態

## 最終成果（施策の方向性）

市民が前橋の自然や文化に愛着をもっている状態を目指します



## (7) 文化財の維持管理・活用促進

成果  
指標

文化財施設の入館者数（年間）

実績（2017）

57,009人

現状（2023）

70,012人

目標（2027）

74,000人

成果  
指標

文化財普及イベント・企画展等の参加者数（年間）

実績（2017）

8,361人

現状（2023）

8,794人

目標（2027）

8,800人

### 1 | 文化財活用推進事業

- ・文化財に触れる機会の提供（社会科見学等）
- ・文化財のガイド・ボランティア人材の育成

#### 直接成果

小中学生のうちに、文化財について触れ合う機会がある状態

#### 中間成果

市民が文化財に触れようと思う機会（イベント）がある状態

### 2 | 郷土芸能継承事業

- ・郷土芸能大会の開催
- ・郷土芸能連絡協議会運営支援

#### 直接成果

こどもが郷土芸能を学ぶ機会を得ている状態

#### 中間成果

市内のこどもたちが郷土芸能を習得し、発表ができる機会がある状態

### 3 | 文化財維持管理事業

- ・史跡等の適切な維持管理
- ・巡回パトロール・点検の実施
- ・保存活用にかかる検討

#### 直接成果

文化財が適切に管理されている状態

#### 中間成果

市民が市内の文化財の情報を知って、地元の愛着度が高まっている状態

### 最終成果（施策の方向性）

市民が文化財に触れ、お薦めの文化財を言える状態を目指します

関連する個別計画

県都まえばし創生プラン、前橋市教育振興基本計画、教育行政方針、まえばし学校教育充実指針

